

早稲田 岳文広報

第五十七号

発行：早稲田大学岳文会OB会

発行日：平成26年3月

<http://ob.gakubunkai.com/>



活動報告

就職懇談会

岳文会は創部50年の100人規模の
運動系学校公認サークル

22期 上田 晶美

2013年12月7日(土)に開かれた、OB就職懇談会のご報告をします。

(株)ハナマルキャリア総合研究所代表の上田晶美(旧姓・林)です。就活の専門家として毎年お招きいただいています。今年は現役18名、OB22名が参加して新宿スポーツセンターで開催されました。お世話係りの轡田先輩、いつもありがとうございます。

今年の就活は好況の兆しはあるものの、第一志望に入りたいならそれなりの努力が必要です。大学名だけで入れるほど甘くはありません。岳文の活動を忍耐力とチームワーク力を養った経験として効果的に話してほしいとアドバイスしました。楽しかったサークルが就活のときには良いアピールになるという二度おいしい岳文ですね。

私は毎年、若手のOBのプレゼンに感心します。入社1~5年くらいの若手のOBが、自社のことだけでなく、業界全体の

話を資料を作成してプレゼンしてくれるのが、非常にわかりやすく感心することしきりです。現役のころはシャイな青年だったのに、会社員になり、堂々と人前で発表ができるようになっていて。そんな成長していく若手の姿を見ることはこの上ない喜びです。私もがんばらないと!と元気をもらえました。遠く関西や東北から駆けつけてくれたOBのみなさん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

私はこの会に参加するようになって10年ほどですが、実はかれこれ30年近く続いているとか。私の同期・22期の幹事長だった宮島くんがOB会に入ってから「就職懇談会というのもいいのではないですか?」と提案したのがはじまりだそうです。つまり、23、4期頃からスタートしているということですね。少なくとも私の時にはなかったものです。こんなにOBのサポートを受けて業界研究ができ、一部の会社にはコネで優遇してもらうこともできるなんて、うらやましい限り。OBはどンドン活用すべし! OB力が岳文の魅力の一つでもありますから。現役のみなさん、早稲田大学に入学したことだけで満足しないで! これから先の自分の一生を大切にしてください。そのための就活です!

<http://hanamaru-souken.com>

(株)ハナマルキャリア総合研究所

千駄木から本郷まで
漱石と鷗外 ー明治の青年群像ー

12期 齋田 英夫

12月7日(土)、新宿スポーツセンターにて就職懇談会が開催され、OB・OGの先輩方からは24名、現役からは14名が参加しました。

昨年に引き続きまして、ハナマルキャリアコンサルタントの代表を務めていらっしゃいます、22期上田晶美先輩から、厳しくも優しいと思いきや、やはり厳しいお言葉を頂きました。まだまだ就職活動に対する意欲も知識も不足しているこの時期に、上田先輩から発破をかけられたことで、我々54期岳文会員も就職活動に向け、良いスタートダッシュが切れたのではないかと思います。特に「笑顔が足りない」「声が小さい」と言った、基本的なことが疎かになっていると指摘された時は、自分でもハッとする思いでした。それ以降、面接においては、自分が笑顔で接することは勿論、自分だけではなく面接官も笑わせてやろうという意気込みで臨んでいます。面接官はなかなか手ごわく、自分だけが爆笑しているケースが多いのですが、負けじとこれからもこのスタンスで就職活動に励もうと思います。

また、様々な業界で活躍していらっしゃる先輩方にご協力いただき、たくさんの貴重なお話を伺うことができました。まだ社会のことなど何もわかっていない尻の青い学生身分の私たちですが、こうして「岳文会」という繋がりのもと、親身になって社会で働くことのイメージを具体的に伝えてくださるのは、本当に自分たちは恵まれていると感じました。今後は大きく左右するこの期間、悔いのないよう、しっかりと就職活動に励みたいと思います。

ご協力頂いたOB・OGの皆様、お忙しい中このような会を開いて頂き、本当にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。



日時 10月27日(日) 午後1時～5時
参加者 8期 瀬川 12期 片山・齋田 13期 日下
14期 佐藤・田村 以上6名

千駄木駅に集合した一行は須藤公園に向かった。少し回りこんで正門を過ぎたところに講談社の社宅のビルがある。ここは講談社は発祥の地であるとの解説板があった。須藤公園は加賀藩の支藩である大聖寺藩の下屋敷跡で、後に品川弥二郎の邸宅になったところである。小振りではあるが池泉回遊式の庭園で、段丘の斜面を利用しての深山幽谷を流れ落ちるような高さ10mの滝がある。庭園の上に出て少し歩くと旧安田財閥の一族である安田楠雄邸がある。和洋折衷の近代建築物として評価が高い。そこを過ぎて少し行くと宮本百合子が育った中條邸跡がある。中條邸の門の一部が現存している。約400坪の敷地を有した大邸宅である。父は慶応の図書館を設計した高名な建築家であり百合子は裕福な家に育った。そしてプロレタリア作家の第一人者となったのである。

さらに進むと高村光太郎旧居跡に至る。父光雲が幸太郎のアトリエ兼住居として建てた家である。ここで光太郎と智恵子は智恵子が入院するまで共に過ごした。中條邸まで戻り、門の中を通り抜けるように行くと高村光雲邸がある。いうまでもなく明治期の日本の彫刻界の第一人者である。墨で書かれた達筆な表札が掛かっている。現在も次男の系統の子孫の方が住んでいられる。

光雲邸から団子坂方面に向かって行き、通りに出て右に曲がった所にあるマンションが青鞥社のあった所である。創刊の辞で平塚らいてうは「元始女性は太陽であった」と高らかに謳い上げ、表紙は長沼(高村)智恵子が描き、巻頭を与謝野晶子の詩で飾った。

青鞥社から通りの向かいを団子坂方面に行った所に森鷗外記念館がある。この場所は鷗外の観潮楼跡で、鷗外はここで明治25年から亡くなる大正11年まで過ごした。鷗外の生涯・業績をわかりやすく展示してある。鷗外の時代にここから本当に海が見えたのか?2階には図書室があり参考図書が置いてある。ここへの入室は無料である。庭には「三人冗語の石」があり正門にはかつて観潮楼にあった敷石が使われている。

ここから予定を変更し、藪下通りを下ることにした。この道はかつて鷗外を訪ねてくる多くの文人が通った道である。汐見小学校の上を通ると校庭ははるか下に見える。大変な高低差だ。この校庭で先日痛ましい事故があった。父親が子供に灯油をかけ無理心中をした現場だ。坂の途中で右に曲がって行くと数年前になくなった「夕鶴」で知られる劇作家木下順二郎がある。2階建てのセンスの良さを伺わせる和風建築である。

木下邸から日本医大のほうに歩くと通称「猫の家」跡に着く。鷗外と漱石がすんだこの家は明治村に移築されている。

鷗外がここから観潮楼に転居した11年後に漱石が入居した。漱石は「猫」ほか初期の作品をここで書いた。碑文が建っておりその題字は川端康成が書いたものである。塀の上には人を小馬鹿にしたように見下ろしている猫のオブジェがあった。

近くにある解剖坂という不気味な名の坂を下って根津神社に至る。五代將軍綱吉が今の社殿を造営した。権現造りの様々な社殿はすべて重要文化財に指定されている。つつじの季節には3000本のつつじが咲き乱れる都内屈指の名勝である。境内には座るにちょうどよい大きな石があり、鷗外・漱石も散歩の途中そこで一休みしたであろうことから「文豪の石」といわれている。その近くには鷗外が奉納した日露戦争の砲弾の台座跡があり、現在は水飲み場として利用されている。裏には「陸軍医監森林太郎」の銘がある。

根津神社を出て東大農学部フェンス沿いに歩いていくと更地になっている土地があった。法学部関係者が大変お世話になった団藤重光邸跡である。その2軒隣が佐藤ハチロー終焉の地であり、記念館があった所である。現在記念館は北上市に移されている。ハチローは大変な悪ガキであったが、西条八十に師事してから詩才を発揮した。佐藤愛子はその異母妹である。

塀沿いに歩き通りに出ると「弥生式土器ゆかりの地」という大きな碑がある。弥生式土器が発掘された場所はまだ特定されていないがここら辺りであろうということで碑が立っている。途中から農学部構内に入り正門近くに向かった。門の近くに朱舜水記念碑がある。彼は明からの亡命儒学者でこの地、水戸藩下屋敷で儒教を教え水戸学の基礎を築いた。

本郷通り沿いに少し歩き本部構内に入って三四郎池に向かう。池のほとりで二人の立ち位置を検討したが当時から比べてみると木が生い茂っているため判然としなかった。赤門を出てフェンス沿いに歩いていくと旧前田公爵邸跡がある。礎石の一部が残っており、その大きさから推察するに建物の大きさが偲ばれる。

春日通りに出る。反対側に本郷中央教会の建物が見える。横断歩道が離れていたため渡るのに逡巡していたら、誰からともなく「自己責任だな」というつぶやきが聞こえ皆で通りを横断した。この建物は昭和4年の建築で、戦火にも耐えぬいた頑丈なコンクリート作りである。二人はここで別れた。「ストレイシープ」と呟きながら。

本郷三丁目にある「かねやす」に向かったが日曜日で休みであった。江戸開府以来続いている店で「本郷もかねやすまでは江戸の内」という立派なプレートが設置してある。

散歩を終え本郷三丁目の駅の近くで今日の疲れを癒す一杯となった。

前は私のノロウイルスで迷惑をかけた後輩なので、いささか後ろめたい。早稲田陣の応援席に陣取った。オリンピックに向けての国立競技場改装に伴い、ここでのラグビー早明戦は最後になるというので、5万人の観衆でほぼ満員になった。優勝を両校で争っていた頃は5万人はザラだったそうだが、このところは低迷し、3万人そこそこが続いていた。最後ということで、両校それぞれプラス1万人増員の号令がかかったとか。その効果で、スタジアムは上段までいっぱいになった。今シーズンの力の差で、早稲田がふたつのトライを決め、18-3で快勝した。去年は最後の土壇場で1点差で負けた悔しさを晴らしてくれた。試合が終わり、松任谷由美が”ノースайд”を高らかに歌い上げ、国立競技場最後の早明戦は終わった。新宿まで歩き、ビアホールで飲んだことは言うまでもない。

平成 25 年度定期総会報告

平成25年11月23日 於：早稲田奉仕園

44期 高橋 力也

1. 平成 25 年度活動報告

(1) 役員会

12回開催(8月を除く毎月第2水曜日及び9月25日(水)臨時役員会 19:00~於：高田馬場ルノアール)

(2) 就職懇談会 平成24年12月15日(土)

参加者 0B=20名 現役=28名

(3) 広報発行 3回発行

① 4月「岳文広報第54号」(総会報告、就職懇談会報告、山行・文学散歩・スノー合宿報告、早稲田スポーツ観戦報告、海外0B報告、行事計画前期他)

② 7月「岳文広報第55号」(山行・文学散歩報告、山岳気象講習会報告、早稲田スポーツ観戦報告、夏合宿案内、九州地方0B報告、行事計画後期他)

③ 10月「岳文広報第56号」(夏合宿報告、文学散歩報告、総会・就職懇談会案内、関西地方0B報告他)

(4) 山行関係他

① 2月10日 スノーシュー(上高地)参加者 12名

② 6月16日 晃石山~太平山 参加者 2名

③ 8月24、25日 現役夏合宿に参加 参加者 4名

(0B、0Gの人数 上高地、雨天のため集中式は中止)

(5) 文学散歩

① 5月26日 第20回 横浜散歩 参加者 10名

② 7月7日 第21回 一葉文学散 参加者 4名

③ 9月22日 第22回 世田谷散歩 参加者 16名

④ 10月27日 第23回 千駄木から本郷まで 参加者 6名

(6) 早稲田スポーツ観戦

① 12月2日(平成24年) 関東大学ラグビー対抗戦早明戦 参加者 5名

② 6月2日 東京六大学野球早慶戦 参加者 3名

(7) その他

4月20日 山岳気象講習会 参加者 0B 3名 現役 47名 講師：猪熊隆之氏

(8) 総会、0B・現役懇親会 11月23日(土)

早稲田スポーツ観戦

国立最後の早明戦

7期 小田 毘古

今回の岳文観戦会は私7期小田と川浪夫妻(45期川浪勝一さん、46期中野阿弓さん)の3人となった。

2. 25年度会計報告 (H24. 11. 24~H25. 11. 22)

(1) 年度会計報告

収入の部		支出の部	
費目	金額(円)	費目	金額(円)
年会費(227名)	865,000	会費(役員会)	98,735
利息	94	会費(総会)	25,870
		広報作成(印刷・編集・発送費)	848,385
		イベント費(就職懇談会)	65,371
		イベント費(夏合宿)	40,000
		現役補助(経備代等・岳文基金参照)	50,000
		ホームページ	6,800
		振込手数料	1,470
		会費納入手数料(含む印字サービス)	16,180
収入計	865,094	支出計	947,811
前年度繰越金	944,464	次年度繰越金	961,737
		(名簿作成積立金 100,000円を含む)	
合計	1,809,548	合計	1,809,548
上記のとおり相違ありません。平成25年11月13日 会計担当 小西 麻子			
(2) 岳文基金残高報告			
前年度繰越金	2,259,089	現役補助(山岳気象講習会)	87,012
収入計	2,259,089	支出計	87,012
		次年度繰越金	2,186,057

(2) 会計監査報告

平成25年度11月13日付、早稲田大学岳文会OB会の平成25年度会計報告を適正なものとして認めます。

平成25年11月19日

会計監査人

佐々木 敦則 (印)

(3) 役員改選

役職	氏名	期
会長	嚮田 英夫	12期
副会長	田村 辰夫	14期
副会長	寺田 耕晴	18期
副会長	谷口 一哉	18期
副会長	菊池 俊行	24期
幹事	小田 毘古	7期
幹事	日下 正紀	13期
幹事	宮島 青史	22期
幹事	木島 恭輔	39期
幹事	田淵 孝光	40期
幹事	白石 和正	43期
幹事	高橋 力也	44期
幹事※	小西 麻子	45期
幹事	江国 敬泰	45期

幹事※	設楽 万理	48期
幹事	岩本 悠	48期
幹事	小田 健介	49期
幹事	大島 崇明	49期
会計監査	佐々木敦則	14期
会計監査	加藤 隆哉	26期

※ 幹事の中において会計管理者とする。

3. 平成25年度活動方針

(1) OB交流の探耕

- ①山行、文学散歩、岳文オープンなどの継続実施
- ②広報での案内や報告の掲載による個人(またはグループ)山行の支援
- ③岳文広報による、積極的な広報活動の推進(OB情報の発信)

(2) 現役への活動支援

- ①就職懇談会 12月7日(土)
- ②行事活動の支援

(3) ホームページの有効活用

ホームページを有効に活用しOB会活動が機能的にできるようにする。
現役のホームページにリンクしているの、相互に情報を共有し互いの活動を支援できるようにする。

4. 平成26年度予算

収入の部		支出の部	
費目	金額(円)	費目	金額(円)
年会費(280名)	780,000	会費(定例会)	100,000
		会費(総会)	70,000
		広報作成(印刷・編集費・発送費)	900,000
		名簿作成	50,000
		イベント費(就職懇談会)	60,000
		イベント費(夏合宿)	70,000
		現役補助	100,000
		ホームページ	10,000
		振込手数料	5,000
		会費納入手数料(含む印字サービス)	15,000
収入計	780,000	支出計	780,000
前年度繰越金	961,737	予備費	961,737
		(名簿作成積立金 100,000円を含む)	
合計	1,741,737	合計	1,741,737

2014年度 岳文OB会 行事計画

実施日	行事内容	集合場所・時間	担当者	申込締切
4月6日(日)	文学散歩 国分寺からはげの道を巡る	JR中央線国分寺駅 11時	日下(13期)	
5月18日(日)	ハイキング 筑波山	つくばエクスプレス秋葉原駅中央改札口 8時15分	田村(14期)	5月7日(火)
6月1日(日)	早稲田スポーツ観戦 東京六大学野球「早慶戦」	JR信濃町駅 10時30分	高橋(44期)	5月23日(金)
6月22日(日)	文学散歩 早稲田から飯田橋へ	地下鉄早稲田駅 文学部側改札 11時	嚮田(12期)	6月19日(木)
共通ルール ①ハイキングは、昼食(お弁当)、行動食、装備など各自準備ください。 ②日程は、変更、中止があります。参加の場合は、事前に必ず連絡願います。 ③ご家族、友人、現役の方の参加も大歓迎です。				

ハイキング

◇筑波山

—関東平野の東側に位置し

「西の富士、東の筑波」と呼ばれる名山—

1. 日 時 5月18日(日)
2. 集合場所 つくばエクスプレス秋葉原駅中央改札口
3. 集合時間 午前8時15分(午前8時30分発に乗車)
4. 申込締切 5月7日(火)
5. 申込先 14期 田村まで
・携帯
・メール
6. 持物 雨具 昼食 水筒 タオル
その他必要と思われるもの
7. 費用 交通費 3,820円(つくばエクスプレス 1,190円×2、関東鉄道バス 720円×2) 温泉入浴料 1,000円
8. 雨天の場合 現地の降水確率で 50%を超えたときは中止とする
9. コース 秋葉原駅=つくば駅(45分)～筑波山神社入口(36分)～宮脇駅(10分)～御幸ガ原(80分)～男体山(15分)～女体山(25分)～弁慶七戻石(30分)～筑波山神社入口(50分)

筑波山は、茨城県つくば市北端にあり、西側の男体山(標高 871m)と東側の女体山(標高 877m)からなる双耳峰です。日本百名山の中では最も標高が低いが、万葉集にも歌われ、古来より信仰の山としても親しまれて来ました。今回は 2005 年に開業した首都圏新都市鉄道つくばエクスプレスとつくば駅からのシャトルバスを使い、筑波山神社前から御幸ガ原コースを登ります。筑波山は植物の垂直分布が比較的是っきりしていて、苦しい登りの中でも植生の変化を見ることができます。ケーブルカーの山頂駅、レストラン、茶店がならび賑わっている御幸ガ原から階段と岩場のまじった直進コースをたどり男体山の山頂を目指します。測候所や男体祠のある山頂からは広々とした関東平野の眺望が眼前に広がります。展望を楽しんだあとは御幸ガ原まで戻り女体山に向かいます。一等三角点の置かれた山頂からは 360 度の展望が広がり我々を楽しませてくれることでしょう。女体祠の裏手から岩場を下ると、弁慶茶屋までの間に大仏石、北斗石、弁慶七戻石などの巨岩、奇岩が次々に現れて来ます。白雲橋コースをたどり筑波山神社入口まで戻ったあとは、筑波山温泉で汗を流したいと思います。

文学散歩

◇武蔵野夫人の舞台、国分寺からはけの道を巡る

1. 日 時 4月6日(日)
2. 集合場所 JR中央線 国分寺駅 改札
3. 集合時間 午前11時
4. 申込先 13期 日下まで
・電話
・メール

5. コース

国分寺駅—日立中央研究所—真姿の池湧水群—お鷹の道—国分寺跡—殿ヶ谷庭園—貫井神社—滄浪泉園—金蔵院—はけの森美術館—武蔵野公園—新小金井駅(解散)

皆さん、「ブラタモリ」をご存知でしょうか。

NHK 総合テレビにて、2008 年から放送された紀行・バラエティ番組です。

放送は終了していますが、この番組の 2012 年 1 月 19 日に国分寺が放映されました。タモリの冠番組です。タモリの趣味で古地図を手に街並みの変化や地形を味わう探索散歩型番組です。この回は国分寺の遺跡が中心に構成されていたと記憶していますが、冒頭、国分寺崖線の湧水の源泉の一つとして、日立中央研究所の庭園が紹介されました。この庭園は、年 2 回(春、秋)一般公開しています。この番組が放映された年の春は、入場するまでに 30 分もかかる大行列ができました。そして、今も旅行会社のツアーに組まれるほど人気のスポットになっています。

しかし、岳文会では、あくまでも文学散歩として取り上げます。

『武蔵野夫人』は大岡昇平の恋愛小説で 1950 年に発表され大ベストセラーとなりました。題名どおり武蔵野の国分寺崖線の通る地域が舞台になっています。古代多摩川が作ったこの「はけ」と呼ばれる段丘崖には、清らかな湧水が流れ、武蔵野の雑木林が広がる自然豊かな場所で、小説の中でも紹介されています。映画やテレビドラマにもなっています。今回は、この崖線に沿って続く湧水の源と「はけの道」を中心に小説の世界をじっくりと味わいながら下記に示したコースを歩く予定です。日立中央研究所の庭園も「武蔵野夫人」の舞台の一つとして、また国分寺の遺跡にも立ち寄りしたいと思います。

なお、文学散歩は雨天決行が常ですが、今回、雨天の場合は、庭園が閉園しますので、中止とします。また、後半のコースは変更があるかもしれません。ご注意事項です。

◇早稲田から飯田橋へ

神楽坂界限 —漱石と紅葉—

1. 日 時 6月22日(日)
2. 集合場所 地下鉄早稲田駅 文学部側改札
3. 集合時間 午後1時
4. 申込締切 6月19日(木)
5. 申込先 12期 響田まで
・携帯
・メール
6. 費用 宮城道雄記念館 400円 懇親会費 3000円程度
7. コース 早稲田駅～漱石生誕の地～有島武郎旧居跡～早稲田小学校～漱石終焉の地・漱石公園～多聞院(松井須磨子墓碑)～浄輪寺(関孝和墓碑)～泉鏡花居住跡～漱石居住跡～古今亭志ん朝終焉の地～広津柳浪・和郎住居跡～島村抱月終焉の地・藝術倶楽部跡～円福寺(泉鏡花の菩提寺)～尾崎紅葉終焉の地～宮城道雄記念館～牛込城址～相馬屋～善

国寺（毘沙門天）～黒板堀・石畳道散策～泉鏡花居住跡～
北原白秋居住跡～飯田橋駅

早稲田派の 忘年会や 神楽坂 子規

かつて神楽坂は早稲田の学生の遊ぶ所であった。三味線の音が聞こえてきそうな街を散策する。

早稲田通りに面した小倉屋酒店の角に入る。小倉屋酒店は堀部安兵衛が高田馬場の仇討ちに駆けつけるとき一杯引っ掛けて行った店である。角を入ったところに夏目漱石生誕の地という立派な石碑がある。ここで漱石は生まれたがすぐに養子に出されてしまった。緩やかな坂を登ると「蒲団」有名になった田山花袋の旧居跡がある。その斜め向かいに白樺派の代表的な作家である有島武郎の旧居跡がある。

漱石公園に向かう途中に区立早稲田小学校がある。この建物は上野の国立博物館本館等を設計した人によって設計された建物で一見の価値がある。漱石公園は漱石の終焉の地で、漱石山房という建物があり漱石の偉業を PR しているが貧弱なものである。新宿区は平成 26 年の漱石生誕 150 年事業で記念館の建設を検討している。ただ資金繰りが苦しく募金を募っている。公園の入り口には漱石の胸像がある。

漱石公園の近くに宗参寺がある。この寺はこのあたりを支配した牛込氏の菩提寺であり歴代の墓碑がある。またここには儒学者山鹿素行の墓がある。ここから松井須磨子の墓所である多聞院に向かう。須磨子は後に訪ねる藝術倶楽部のスターであった。愛する抱月がスペイン風邪で急逝すると 2 ヶ月後その後を追って縊死した。隣の浄輪寺は和算の大家関孝和の墓がある。

泉鏡花住居跡を経て新潮社に向かう。ここは漱石の妻鏡子の実家である。漱石はイギリスの留学から帰ってからしばらくこの家の離れに住んだ。古今亭志ん朝終焉の地、広津柳浪・和郎父子の旧居跡を訪ねて、島村抱月終焉の地である藝術倶楽部跡に着く。抱月は師逍遥に背き、早稲田大学教授の地位と妻と 7 人の子を捨て、須磨子と演劇活動に邁進した。しかし二人は報われないまま亡くなった。

近くに加藤清正によって創建された円福寺による。ここは泉鏡花の菩提寺である。次いで「金色夜叉」の作者の尾崎紅葉の終焉の地に行く。鏡花は紅葉宅に住み込んでいた時期がある。

ちょっと離れているが宮城道雄記念館があるので寄って見る。盲目の和楽の作曲家として名高い。宮城道雄旧邸も見学できる。ついで牛込城址である光照寺による。

ここから早稲田通りに向かう。通りに面したところに文具の相馬屋がある。漱石・紅葉・鷗外等名だたる作家が愛用した原稿用紙を売っている。ちなみに創業は家光治世下で 370 年前である。

向かいにある善国寺は毘沙門天様として知られている。ここら辺周辺を散策してみよう。黒い板堀の古い石畳の道があちらこちらにある。三味線の音がすぐそこから聞こえてきそうな雰囲気のある通りである。作家がこもるようなしっとりとした宿もある。理科大の裏手に北原白秋や泉鏡花の旧居跡があり、そこを訪ねて飯田橋に出て今回の旅は終わる。

早稲田スポーツ観戦

スポーツ観戦を企画いたします。多くの OB、OG の皆様と一緒に伝統の早慶戦（野球）、を観戦いたしましょう。

◇ 東京六大学野球「早慶戦」

1. 日時 6月1日（日）予定 13:00 試合開始
2. 場所 神宮球場
3. 集合 J R 信濃町駅 10:30
4. 申込 5月23日（金）までに、44期高橋まで
・メール：
・携帯：
5. その他 一般席での観戦予定となります。
午前中の応援合戦から観戦予定ですので、昼食持参願います。
試合終了後、懇親会を予定しております。

現役から

55期 杉村 颯太

2013年11月より、岳文会幹事長に就任いたしました。現在早稲田大学商学部2年に在籍しております55期・杉村颯太と申します。まだまだ分からないことも多く先代や先々代の幹事長に頼らせていただいたりもしていますが、100人の頂点としてこのサークルの為に尽力させていただきます。

それではまず、55期に幹部交代してからの活動報告をさせていただきます。まず私にとって非常に思い出深いのは、11/23のOB総会であります。岳文会のOBOGの方々が一室に会するこの会を通じて、私は改めてこのサークルの規模と歴史に驚嘆し、また幹事長としてこのサークルを率いていくことに大きな責任を感じました。さて、この会で私は誠に僭越ながらエールをやらせていただいたのですが、緊張のあまり「フレーフレー岳文！ソレー！ハイ！」の「ソレー！」を抜かしてしまうという失態を犯しました。実は私は幹部交代合宿においては同じように「ハイ！」を抜かず失態も犯しております。集中式のエールでは必ず一つも抜かさずエールを完遂させていただきますのでどうかご容赦下さい。間違っても、今度は「フレー！」を抜かず、などということのないように…。

その後の活動としましては、まずは12月のクリスマスに斑尾にて冬スキー合宿を行いました。先代幹事長が一男とともに服を着たまま浴槽に突っ込んだり、先代幹事長が夜の闇の中、服を着ずに降り積もる雪の中に突っ込んだりなど様々な事件がございましたが何とか無事故のまま早稲田に帰ってくることができました。

そして2月にまた、今度は菅平にて春スキー合宿を行いました。このスキーも平穩無事に終わる、かと思いきや未曾有の大雪に見舞われ、長野・山梨の交通機関が殆ど麻痺し宿から出られないという状況に陥ってしまいました。幹部交代して初めてのアクシデントでしたが、幹部を始めとして同期で

対策方法を話し合い、結論を出すという経験を通じて一つ、大自然から勉強させていただいたという思いです。

さてそんな阿鼻叫喚な冬を終え、いよいよ春、新歓の時期でございます。56期はどんな人々が来るか、今から楽しみでなりません。そんな新入生を楽しませるような新歓企画も、現在それぞれの企画者が構想を練ってくれているところでございます。

長々と駄文を書かせていただきましたが、このように私達現役が様々な企画を行えているのは、ひとえに OBOG の方々のご助力、ご支援のおかげでございます。そんな御心を無駄にしないように全ての現役が、そして何よりも次の新入生がこのサークルに魅力を感じ楽しんでくれるように一年間努力を怠らない所存でございますので、どうかよろしく願いたします。

東海地方のOBから

これから・・・

13期 高橋 裕明（静岡県在住）

大学卒業後、ヤマハ一筋に仕事をしてきました。海外赴任も経験し、定年後も4年間勤めておりましたが、この4月から第2の人生がスタートします。さて、これから何をしようかと思案しているこの頃です。

結婚37年、妻と向き合う毎日になります。一緒に料理を作り、一緒に旅をし、ワンコも飼って・・・、仕事人間40年の棚卸をしながら夢は限りなく広がります。趣味の幅を広くして、ジョギング、山登り、それから新たに釣り、将棋、囲碁もやってみたいと思っています。妻からは何がおもしろいのか、マラソン、山登りをする人の気持ちがわからないと言われます。それにもめげず、去年の秋からマラソンを目指してトレーニングを始めました。今年の年賀状には、フルマラソンに挑戦と目標を掲げました。

まずはハーフマラソンということで、浜松シティマラソンにエントリーし練習に励んでいましたが、本番数日前にウォーミングアップ中に右足ふくらはぎの肉離れで、当日は走者ではなく見物人になってしまいました。寄る年波には勝てないものです。

3月2日は目標にしていた静岡マラソンです。初めてフルマラソンへの挑戦ですが、先日の肉離れがまだ完治していません。目標は4時間代でしたが、5時間30分の制限時間内に完走できるかどうかです。

山は卒業直後に涸沢に行っただけで、ずーっと山とは縁のない生活を送ってきました。数年前に職場の若い人に触発され、富士山のご来光弾丸登山に行ってきました。富士吉田口、富士宮口と弾丸登山、昨年は初めて単独で須走口から登り、山小屋に宿泊。大勢での雑魚寝でシュラフのなかで身動きもできない状態でした。でも、これも山登りの醍醐味です。今年は残された御殿場ルートからご来光登山を目指します。

岳文13期有志で北アルプスシニア登山もいいですね。浜松から情熱を込めて東京在住の諸兄に企画をお願いします。

老いて益々元気に社会貢献もして行きたいと思っています。

2020年には東京オリンピックが開催されます。海外から日本に来られる方に“おもてなし”を実践したいものです。街の案内ボランティアを目指し、英語、スペイン語も継続してやっています。

北海道出身ですが、今は浜松での生活が一番長くなりました。

気候が温暖、風光明媚、うまいものが沢山ある浜松に皆様も是非お越し下さい。

【追伸】静岡マラソンに参加しました。雨、風で気候は最悪でしたが、初フルマラソン完走しました。足はパンパンでしたが、精一杯頑張りました。

私を山に連れてって

20期 鷲見正人（岐阜県在住）

Uターン就職した銀行で職場結婚をして二十数年経った5年ほどまえのこと、テレビの趣味番組で、山ガールの洒落た登山姿を見ていた妻が急に、「私もどこか連れてってほしいな。パパ、登山の経験あるんでしょ」と言い出しました。二人の娘も大学生で親とどこかへということも無くなり、ならばと、まずは、ゴンドラを使って八方尾根から唐松岳へ登りました。天気に恵まれ360度の大展望に感激した妻は、下山後「次はどこへ行けるの。ちゃんとした登山靴も買うわ」と、さっそく名古屋の駅前アルプスへ行き、シリオの登山靴を購入しました。

私自身は、就職してまもなく会社の先輩に連れられて、岐阜周辺の里山に登ったりしていました。でも、藪山が多く、元岐阜大学学長の今西錦司さん（故人）と数回一緒に登ったという以外どうも登山をしたという感じがありません。妻との登山も、やっぱり日本アルプスがいいかなと。

というわけで、翌年は、妻と二人でトレーニングを兼ねて伊吹山や御在所岳に登り、夏は、蝶・常念の縦走をしました。これまた、天気も最高で、蝶での雲海や、縦走中の槍穂の大パノラマに二人とも感激でした。計画では、大天井、燕から合戦尾根を降りる予定だったのですが、やはり体力は学生時代のような訳にはいかず、エスケープルートとして予定していたコースを二泊三日での消化となりました。秋には、蓼科山や北八ヶ岳のお池めぐりをしたりして、一昨年夏は、涸沢からザイテンを経て穂高岳山荘に泊まり、奥穂高岳に登頂しました。50代の二人ですから、ザイテンや奥穂の登下りは、中高年の新聞記事にならないよう少々緊張しましたが。

ところで、ここまでは小屋泊まりが基本でしたが、昨年の夏、一度は南アルプスに行こうということになって、8月初めに北沢峠や仙丈ヶ岳の山小屋に電話したところ、どこも予約で一杯と断られました。山小屋で泊まれないことがあるんだと、時代の変化に驚きの気持ちでした。で、急遽ネットでもエスペースを購入し、北沢峠から甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳の2峰に登頂しました。ここでも、二人の体力不足は如何ともしがたく、駒の下りでは、妻は半泣き状態でした。それにして

も、かつては戸台から半日かけて歩いて北沢峠に入ったものですが、今は、マイクロバスで1時間という便利な峠になっていて驚きでした。

でも、まあ無事下山すると、NHKの日本百名山の番組を見ながら次の山行を考える二人になっています。我が家は、昨年、大阪に住む次女に女の子が生まれ、長女も結婚して岐阜を離れました。今は、年老いた私の両親と4人での生活です。老々介護に入るまでは、二人で登山を続けたいと思っています。

*写真は、奥穂高岳からの下山途中、涸沢小屋でパフェを食べ大休止の二人です。



近況報告

48期 岡部 圭作 (岐阜県在住)

いつもお世話になっております。48期の岡部と申します。私は今、岐阜県中津川市にある王子エフテックス(株)中津工場で経理業務・原価管理業務に従事しております。大学を卒業してすぐに配属されたので、もう丸5年経とうとしております。(本投稿文書を作成している時に意識し、改めて時の経つ早さにビックリ！)

さて、同期の設楽から近況報告の依頼があってPCに向かうも、既に近況報告のネタは尽きてしまいました。中津川市唯一の名物である栗きんとんは、旬である秋をとうに過ぎてしまいましたし、中津川市のかすかな希望であるリニアが開通するのは2027年予定とずう〜と先の話です。

なので、適当な話を少々。

さて、皆様は「信長の野望」というゲームを知っていますでしょうか？私は小学校の頃から戦国時代の話が大好きで、中高時代から、このゲームにかなりハマっていました。戦国三英傑と言われる織田信長・豊臣秀吉・徳川家康を輩出している東海地方だけあって、ゲームの中でも重要な要所なんです。そして、たくさんのお城があるんです。その中で私が観

光で訪れたことのある城をいくつか紹介したいと思います。

①犬山城 (愛知県犬山市)

江戸時代までに建造された現存天守 12 城のひとつで姫路城・松本城・彦根城とともに天守が国宝指定されている日本 100 名城です。木曾川沿いの丘上に佇む犬山城は、中国長江流域に佇み三国志の劉備玄德が没したことで知られる白帝城にちなんで、日本の白帝城とも言われる。

②岡崎城 (愛知県岡崎市)

徳川家康が出生した城で日本 100 名城。現在は復元された天守を中心に岡崎公園として市民憩いの場となっており、日本さくら名所 100 選にも選ばれている桜の名所でもある。ゆるキャラであるオカザエモンに会えるかもしれない。

③岩村城跡 (岐阜県恵那市)

岐阜県指定史跡で日本 100 名城・日本三大山城・日本の秘境 100 選。付近は霧が多く発生するため、別名・霧ヶ城とも呼ばれる。「女城主」の悲哀物語伝説があり、それをモチーフとした日本酒も有名です。

これらの城を観光して、夜は名古屋でコーチンをつまみに1杯やるといのはいかがでしょうか？くれぐれも飲み過ぎには注意しましょう！！

OB 会幹事会からの連絡

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

- ・中島正春さん(7期)が2013年6月に大腸がんで亡くなりました。
- ・小宮山正己さん(1期)が、2014年1月14日に亡くなりました。

平成 26 年度年会費について

45期 小西 麻子

昨年度は事務局運営につきまして多大なるご支援を賜りありがとうございました。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。以下は会費納入のご案内です。

- 1) 一会員につき年額 3000 円
(夫婦会員の場合には一世帯につき年額 3000 円)
- 2) 本年は平成 25 年 11 月 23 日を平成 26 年度開始日とする
- 3) 振込口座

[当座] 00230-8-30118

又は [普通] 店番 008 口座番号 6690731

今年度は 52 期までが納入対象者です。(53 期は対象外)
前回の OB 総会で既に納入いただいている場合も不要です。